

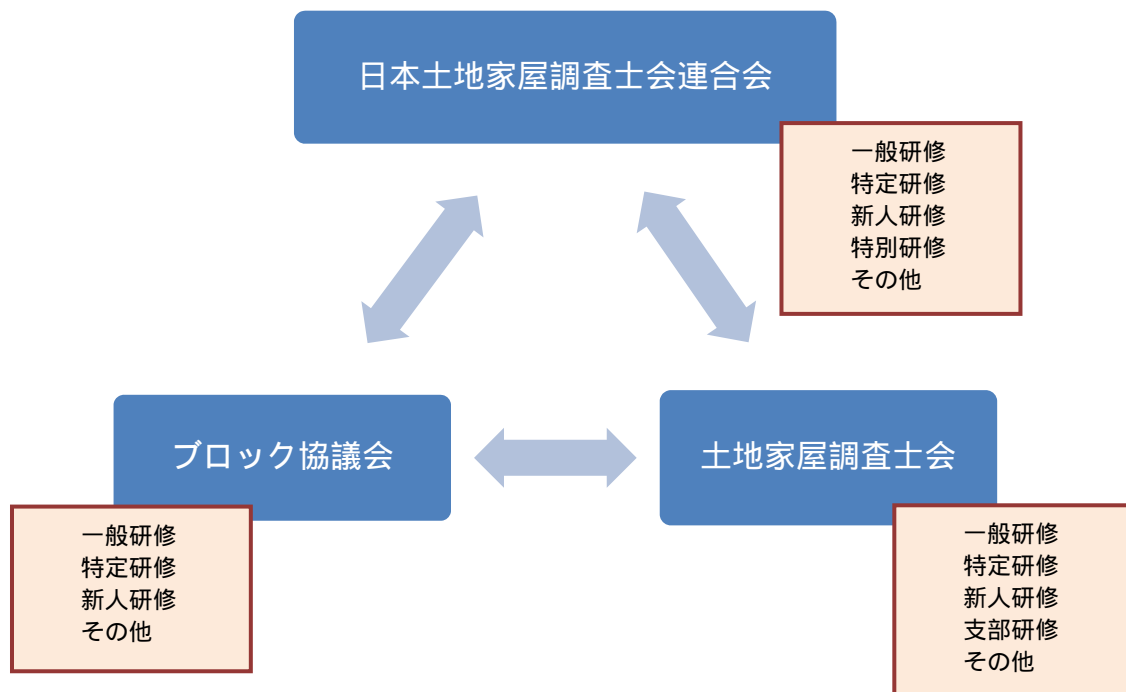
一般研修について

土地家屋調査士は、常に最新の専門知識・技術をもって社会の要請に応えるため、独自の研修制度を構築し、土地家屋調査士の業務遂行に供する専門知識と技術の維持向上を図っています。

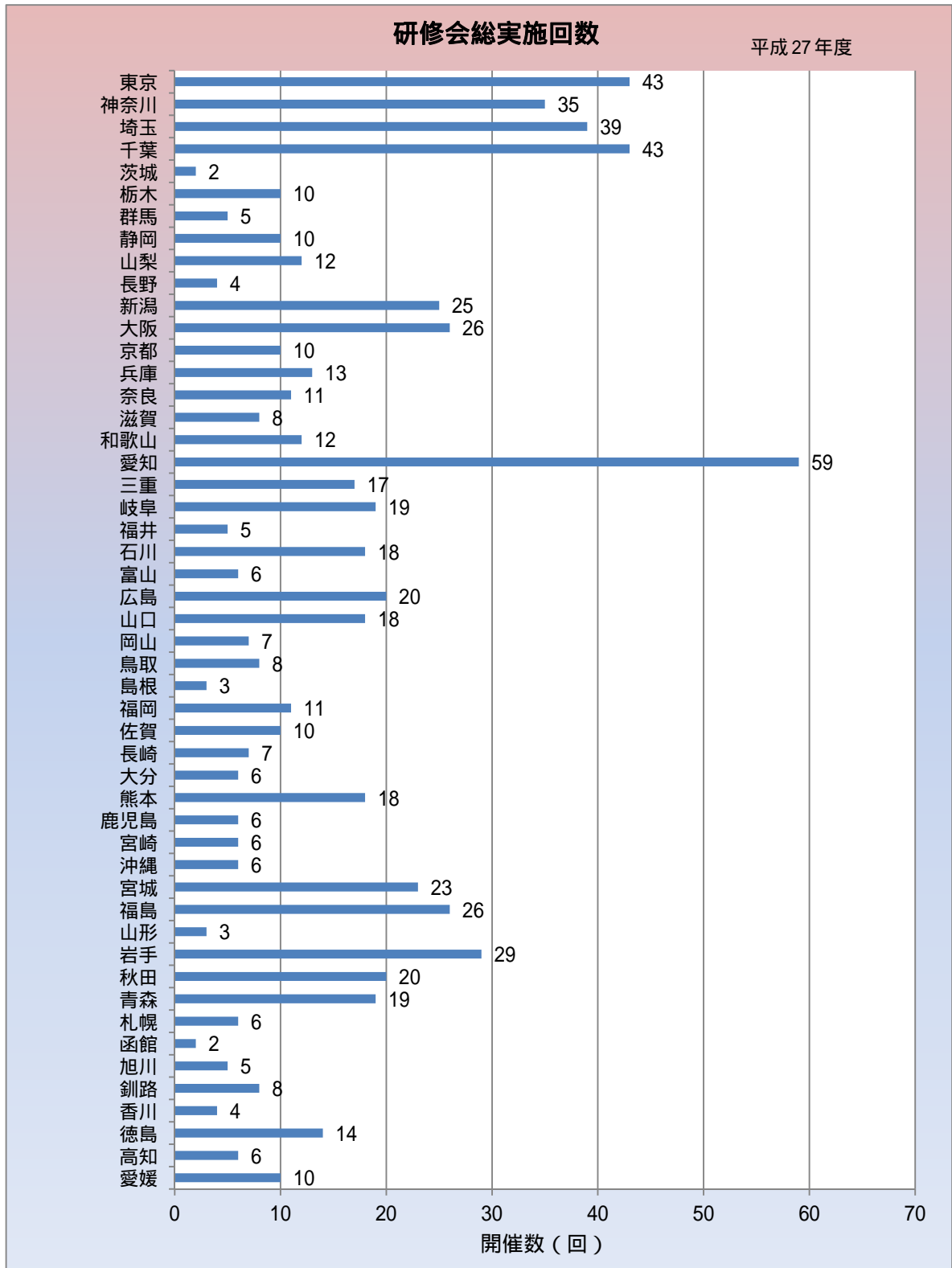
土地家屋調査士の研修については、土地家屋調査士法第25条により「調査士は、その所属する調査士会及び調査士会連合会が実施する研修を受け、その資質の向上を図るように努めなければならない。」と明文化されております。

平成28年度実施の「研修に関する調査」の取りまとめを行いました。解析、活用は、今後各会の研修担当者の方々と一緒に検討してまいりたいと思います。まずは大まかな統計データとして提供いたします。

今後ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。



研修の実施状況



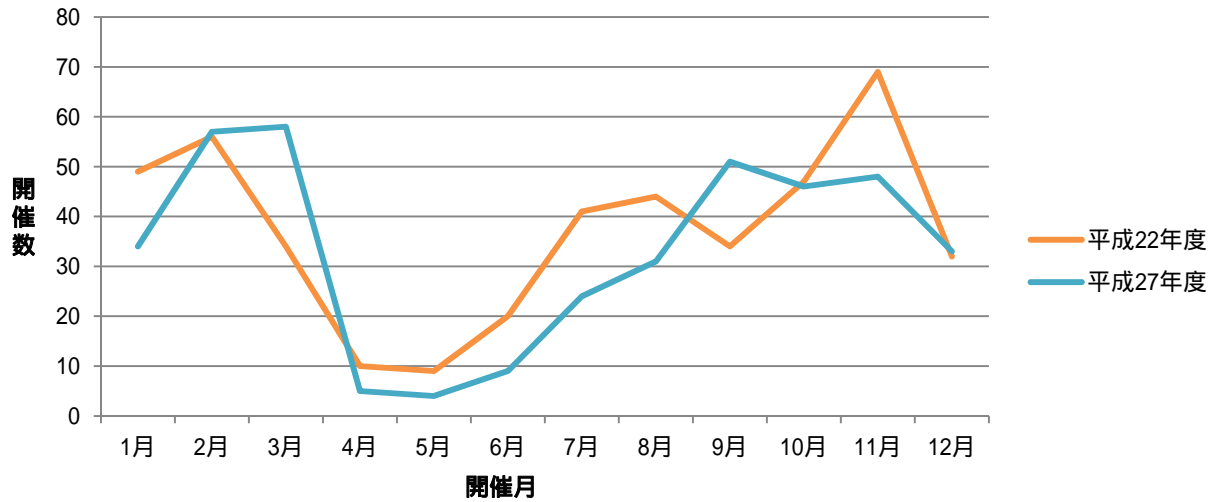
各土地家屋調査士会からの報告の総数を集計（支部別研修を含む）

平成 28 年度「研修に関する調査結果」より



上記回数は土地家屋調査士会主催の研修会と支部主催の研修会の開催数を合計したものです。特に開催回数が多い会は支部研修が多く開催されているようです。

研修会開催数の推移（全国集計）



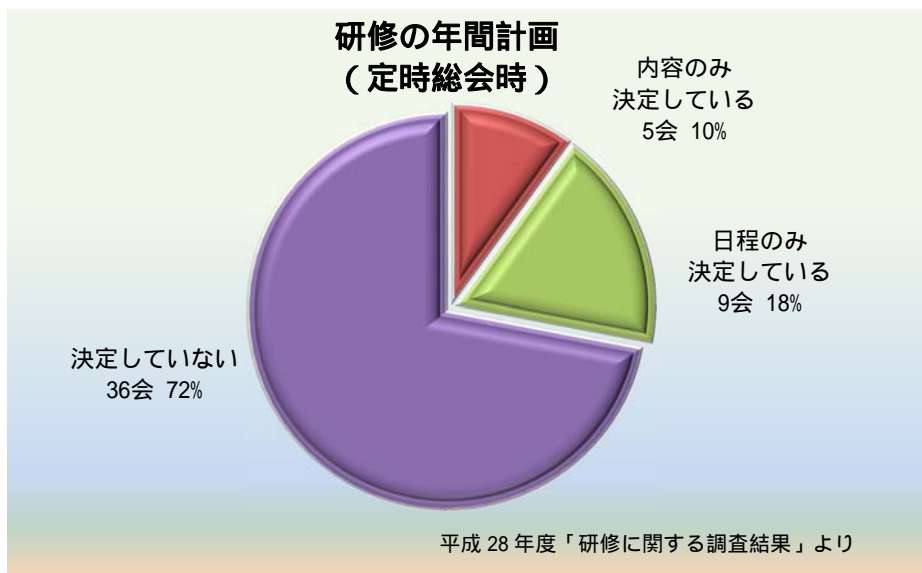
土地家屋調査士会主催の研修会のみを集計

平成 23 年度及び平成 28 年度「研修に関する調査結果」より

4月～5月は調査士会の事業年度の変り目であり、総会が開催されます。事業計画、予算は総会で承認を得て執行されるため、この時期の研修会の開催は少ない結果となっています。

研修の年間計画等

総会において研修会の回数を決定し、日程及び内容はその後の研修担当部会や理事会で決定している会が多く見受けられます。

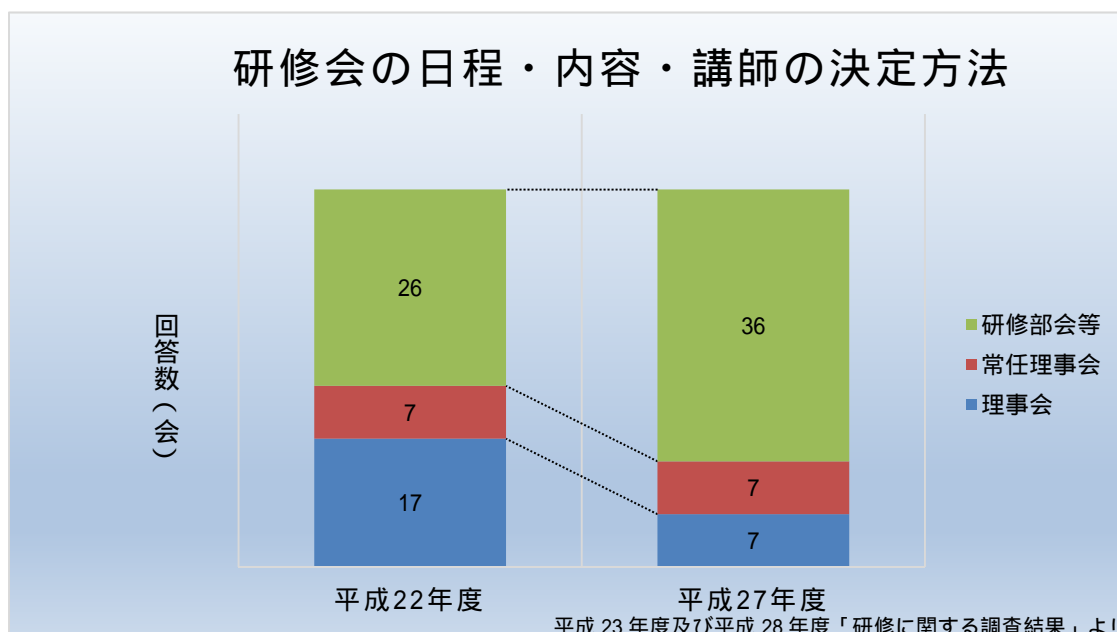


年間研修予算割合 **研修予算全国総額 107,620,000 円** (平成 23 年度：98,910,000 円)

	研修予算割合	一人当たり研修予算
最大値	9.2% (8.0%)	17,960円 (21,600円)
最小値	1.0% (1.1%)	2,754円 (1,666円)
平均値	3.2% (3.1%)	6,600円 (6,239円)

(表中カッコ内は平成 23 年度の数値)

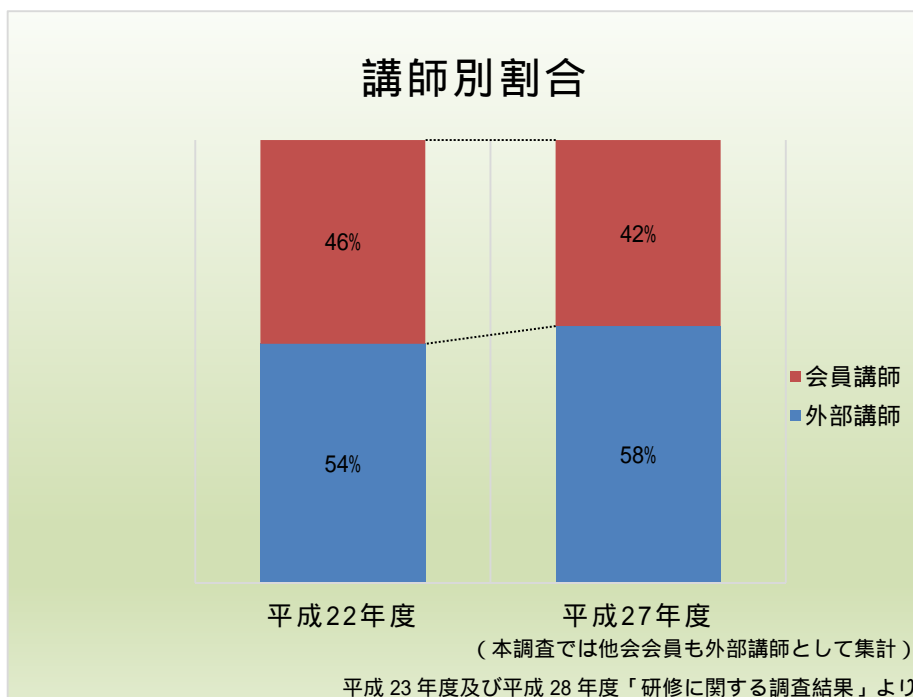
平成 23 年度及び平成 28 年度「研修に関する調査結果」より



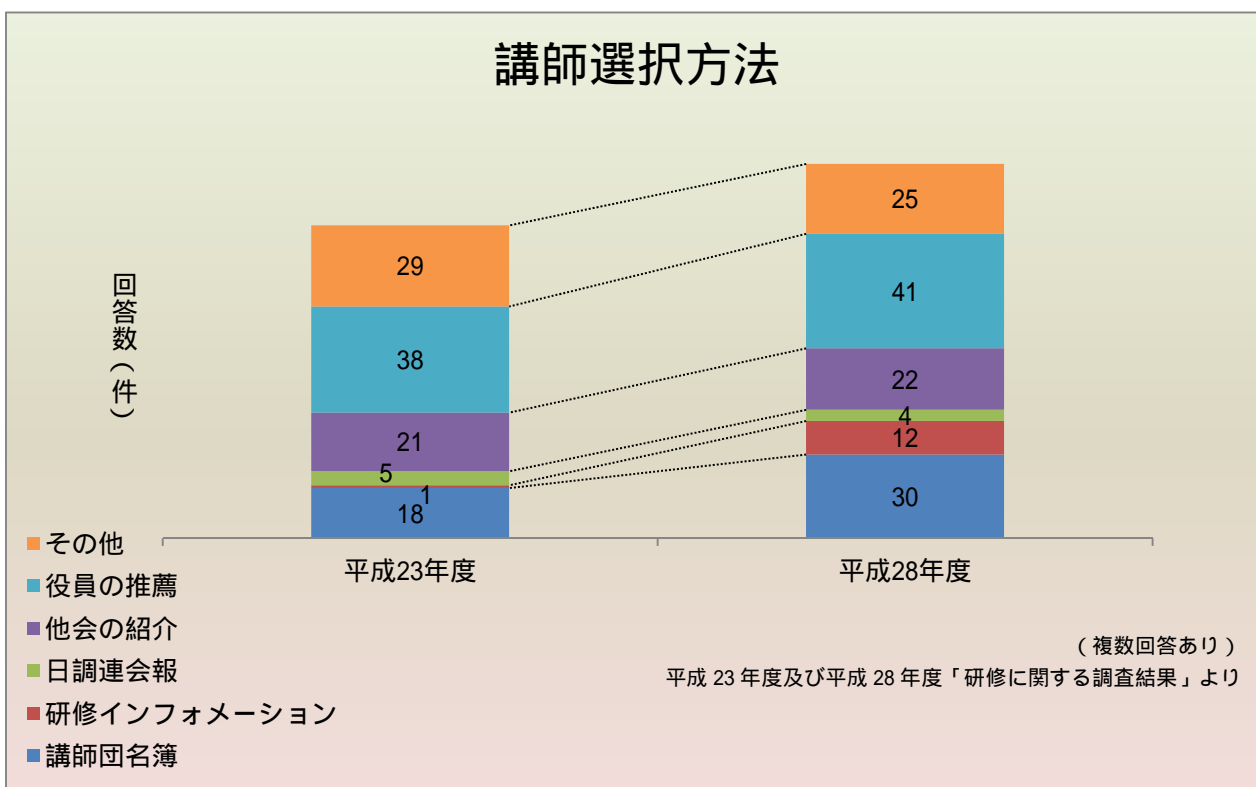
研修会の講師について



研修会の講師は「外部講師」（土地家屋調査士会員以外の専門家、学識者等）と「内部講師」（土地家屋調査士会員）に大別されます。



！ 平成23年度に実施したアンケートと比較すると、外部講師の割合が増加傾向にあります。

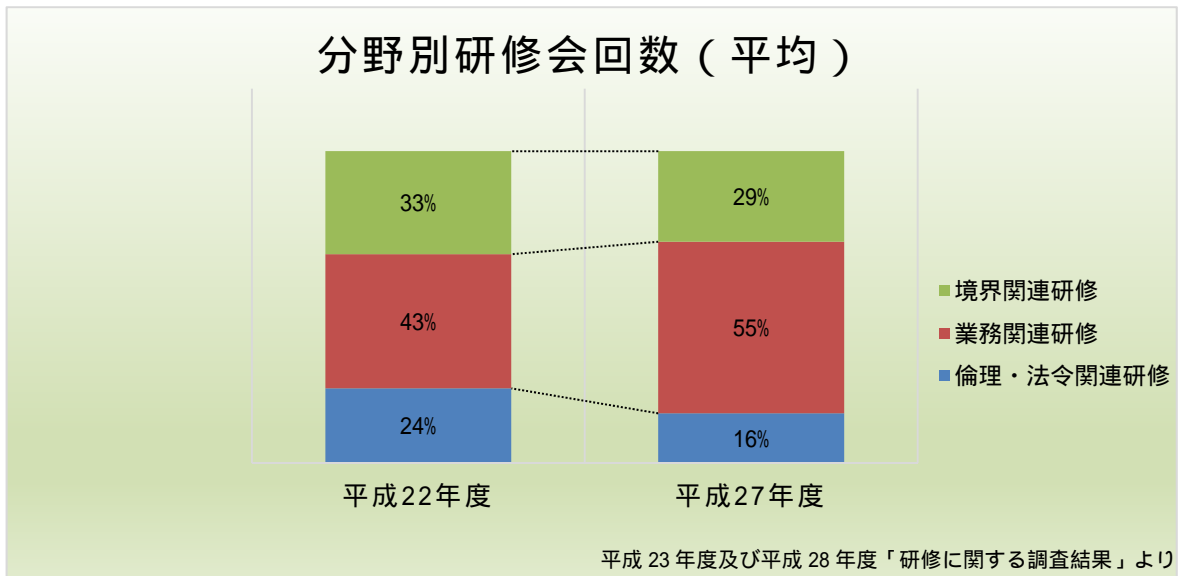




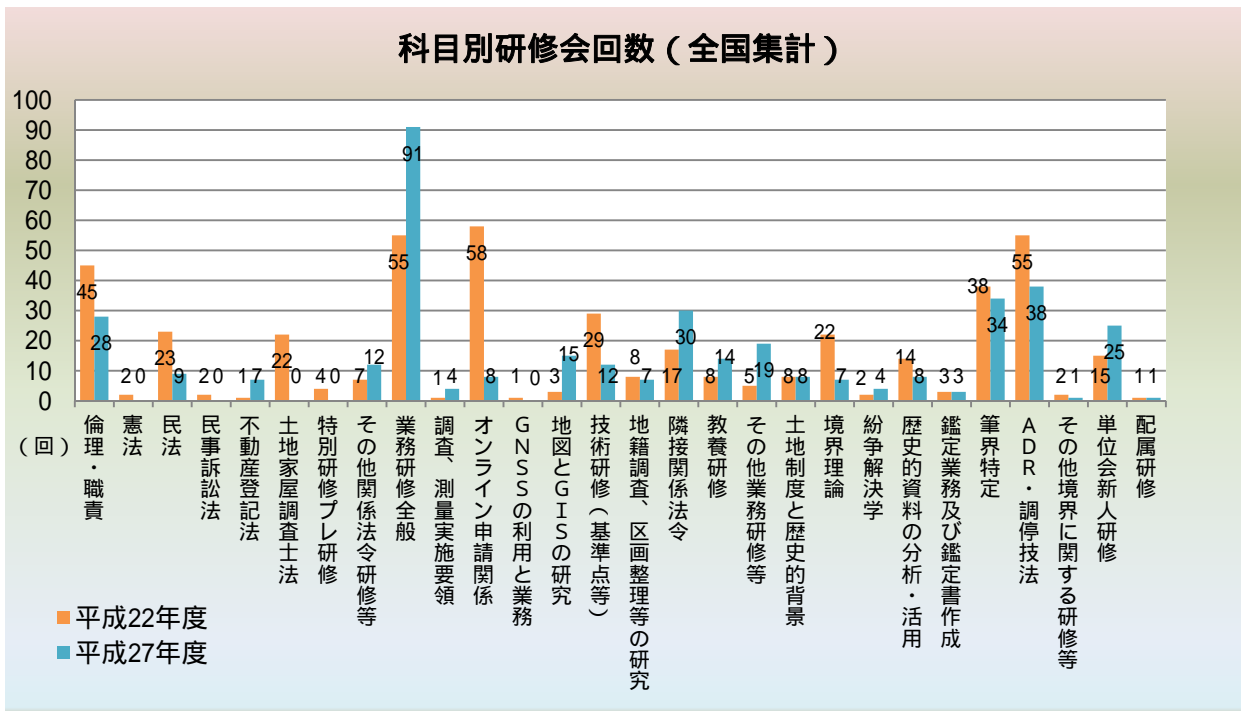
広報キャラクター

研修の分野・科目

土地家屋調査士は、『法律関連専門職』、『測量技術者』として「倫理・法令関連」、「地識くん」「境界関連」、「測量技術関連」等、研修の分野・科目は多岐にわたります。数多くの研修科目をバランス良く受講することが必要とされています。



! 業務関連研修の割合が高くなっています。



土地家屋調査士会主催の研修会のみを集計

平成 23 年度及び平成 28 年度「研修に関する調査結果」より

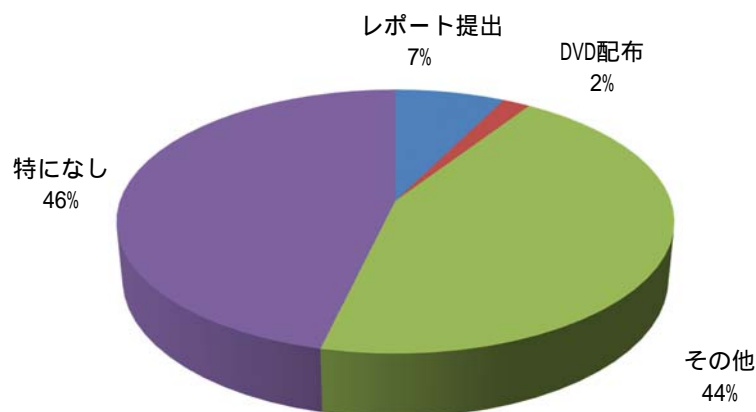
科目別研修会回数・割合（全国集計）

分野	科目	平成 27 年度		平成 22 年度	
		研修会数	割合 (対総研修会数)	研修会数	割合 (対総研修会数)
倫理・法令 関連研修	倫理・職責	28	7.3%	45	10.0%
	憲法	0	0.0%	2	0.4%
	民法	9	2.3%	23	5.1%
	民事訴訟法	0	0.0%	2	0.4%
	不動産登記法	7	1.8%	1	0.2%
	土地家屋調査士法	0	0.0%	22	4.9%
	特別研修プレ研修	0	0.0%	4	0.9%
	その他関係法令研修等	12	3.1%	7	1.6%
業務関連研修	業務研修全般	91	23.6%	55	12.2%
	調査、測量実施要領	4	1.0%	1	0.2%
	オンライン申請関係	8	2.1%	58	12.9%
	G N S S の利用と業務	0	0.0%	1	0.2%
	地図と G I S の研究	15	3.9%	3	0.7%
	技術研修（基準点等）	12	3.1%	29	6.4%
	地籍調査、区画整理等の研究	7	1.8%	8	1.8%
	隣接関係法令	30	7.8%	17	3.8%
	教養研修	14	3.6%	8	1.8%
	その他業務研修等	19	4.9%	5	1.1%
境界関連研修	土地制度と歴史的背景	8	2.1%	8	1.8%
	境界理論	7	1.8%	22	4.9%
	紛争解決学	4	1.0%	2	0.4%
	歴史的資料の分析・活用	8	2.1%	14	3.1%
	鑑定業務及び鑑定書作成	3	0.8%	3	0.7%
	筆界特定	34	8.8%	38	8.4%
	A D R ・調停技法	38	9.9%	55	12.2%
	その他境界に関する研修等	1	0.3%	2	0.4%
新人研修等	単位会新人研修	25	6.5%	15	3.3%
	配属研修	1	0.3%	1	0.2%
合計		385	100.0%	451	100.0%

研修会に出席できなかった会員へのフォロー

各土地家屋調査士会では、会員に対し、より多くの研修受講機会を提供するとともに、事情により研修会に参加できなかった会員に対し、様々な方法でフォローを行っています。

研修会欠席者へのフォロー



(フォローを行っている会の内訳)
平成28年度「研修に関する調査結果」より

「その他」で挙げられた回答は次のとおりです。

動画を YouTube にアップし、会員に限定公開している。

研修会の内容を撮影し、後日ビデオ研修を開催する。

研修会の内容をDVDに収録し、貸出しを行う。

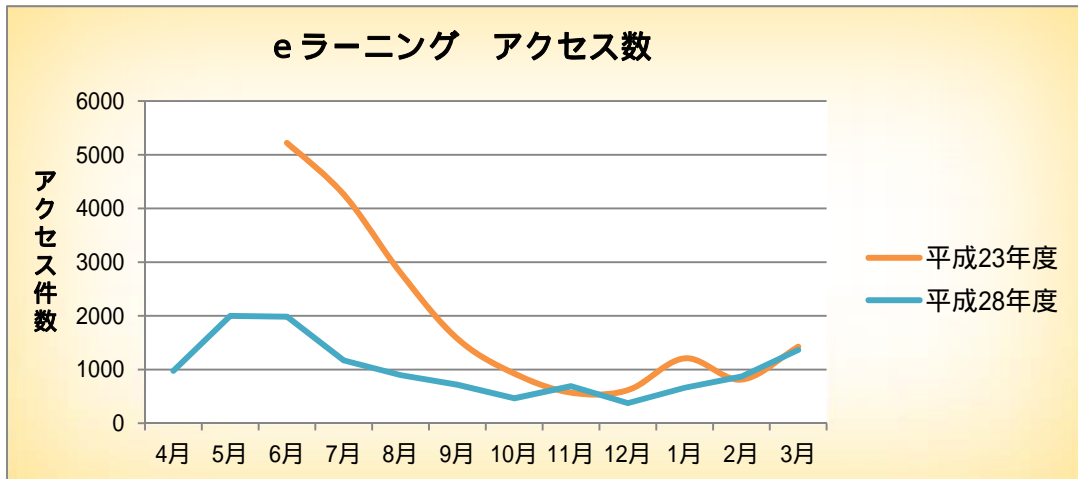
教材及び資料を配布する。

出席率の低い会員には文書を送付し、出席を促す。

3か年全体研修会に参加したことがない会員に対して事務所訪問を行う。

eラーニング

受講者がLMS（学習管理システム）に接続し、あらかじめ用意されたコンテンツの中から、学習したいものを選択して学習する形態です。



- ・ 同時間、同一場所に集まる必要がなく自由な時間場所で学習できる。（開講時間に拘束されない）「いつでも受講できる」、「どこからでも受講できる」。
- ・ システム的に安定して供給できる。
- ・ スケールメリットを生かせる分、低コストである。

平成 28 年度以降に追加されたコンテンツ

- ・ 「重ね図」作成手引書解説
- ・ 土地家屋調査士 会員必携
- ・ 空家問題に関する知識
- ・ 借地借家法の基礎知識
- ・ 教養のための会社法
- ・ 会社法と不動産の権利関係
- ・ 相続税・贈与税の改正の動向
- ・ 事務所経営に関する問題
- ・ 事務所経営に必要な知識～資金繰り、融資、法務、財務（決算等）の知識～
- ・ 人材確保の方法に関する知識
- ・ 危機管理・リスク管理の知識
- ・ クレーム対応のノウハウ
- ・ コーチング理論の概要
- ・ コーチング理論の詳細
- ・ 「プロフェッショナル」と呼ばれるにふさわしい士業のためのビジネスマナー
- ・ 士業のためのビジネスマナー（パート2）
- ・ 士業のための「おもてなし（ホスピタリティー）」
- ・ 相談業務に役立つ「傾聴」の知識
- ・ 平成 27～28 年度研究所研究報告会

※ 注意事項

- ・ ウェブサイト等への転載については、日本土地家屋調査士会連合会の許可が必要です。